

# ブナ林の恵み・クロモジの香り

## 比婆山のブナ林の構造 (ブナ *Fagus crenata* Blume)



庄原市立比和自然科学博物館のブナ林のジオラマ

比婆山や吾妻山、猿政山、大万木山の標高 1,000~1,100m以上に分布しているブナがつくっているブナ林は、ブナ・クロモジ群集というタイプのブナ林です。比和地域では、田植が終ると山へ入ってクロモジの枝を刈り、ふもとで枝からクロモジ油を精製し、香料の原料として出荷していました。(作成協力: 庄原市立比和自然科学博物館)



比婆山のブナ林の構造

### 第1層 (高木層)

樹高が 25m もある。ブナ林ですから第1層 (高木層) はブナ林で、たまにイタヤカエデが混っている。

### 第2層 (亜高木層)

亜高木とは樹高が 15m ほどの高木に次ぐ高さの樹木。  
第2層の樹木はブナ (若木)、イタヤカエデ (若木)、ミズナラ、コハウチワカエデ、ハウチワカエデ、トチノキ、リョウブなど。

### 第3層 (低木層)

低木とは樹高が 5m 以下で、高木や亜高木のように主幹がはっきりせず、根際などでいくつかの幹にわかれている樹木。  
ブナ・クロモジ群集ですから、**低木の中心はクロモジ**、タンナサワフタギ、オオカメノキ、ハイイヌガヤ、チャボガヤなど。

### 第4層 (草本層)

オオカニコオモリ、ミヤマカタバミ、マルバフユイチゴがみられ、サカゲイノデ、リョウメンシダ、オシダ、ヤマソテツなどのシダ類。



福田頭などに自生するクロモジ

庄原市自然とやすらぎの里宿泊研修施設  
「かさべるで」 電話 0824 (85) 2 2 3 0

〒727-0301 広島県庄原市比和町比和 165-1

※ 庄原 IC・高野 IC から車で約 30 分  
※ 連続して 3 泊以上は割引があります